



『第2回学校運営協議会』にて10月25日開催

第2回学校運営協議会では、各学校ごとに分かれて学校運営等についての中間説明があり、その後グループでの話し合いが行われました。各グループでの報告は下記のとおり。

○八森小グループ

昨年度からの学習や体力向上の課題に取り組んでいる。学力調査で良い成績をあげることができた。体力面では、10月の校内マラソン大会の記録が5月の運動会時よりタイムアップしており、休み時間や体育の時間等を利用した体力づくりの成果が出ている。



○峰浜小グループ

統合して3年目、子どもや保護者の和が出来上がってきている。2校が一つになり児童が多くなって学習発表会などもダイナミックで、かつ一生懸命取り組む姿勢が伝わってきたというコメントがあった。

学習発表会で披露した子どもたちの伝統芸能（石川郷土芸能）に関して、水沢地区でもかつてあった伝統芸能がなくなっているの、今の活動を引き続き行ってほしいという要望があった。

子どもたちの集団が大きくなったので、子どもたち同士が話し合い、協力して成しとげる 経験を多く積ませてほしいという声があった。



○八峰中グループ

生徒指導面で、秋田大学の先生がスクールカウンセラーとして定期的に来てくれるし、保護者も聞くことができる機会があってありがたいとの声あり。

学習指導面では、授業参観で見ることがあって、素晴らしい授業内容で感動したと委員から報告があった。

キャリア教育は、1年生の職場体験、2年生の町物産販売、3年生のアントレプレナー学習としての「んめものまつり」での商品開発と販売とあったが、子どもたちの能力発揮できる教育の場なので続けてほしいとの要望があった。



Dのあっちこっち見聞録7

D（コミュニティ・スクールディレクター）として、観て、聴いて、感心したことを紹介しています。※取材していない行事についてはごめんなさい。

第五回あきた白神子どもの俳画大会

町内の2小学校から225点の応募があり、町文化祭で入賞作品はもとより、すべての応募作品が展示されました。俳画は、観る方にとっては「俳句」と「絵」の2つを楽しめるので、ラーメンとカレーライスのセットができてきたようなお得な気分になります。作る方にとっては大変かもしれませ

んが。
俳句づくりに慣れしていないと、つい「うれしいな」「楽しいな」「きれいな」「だ」「な」などの感動を表す語を使ってしまうがちですが、それをもっと別の具体的な表現に言い替えてほしいと柳川審査員長の講評にありました。俳句は脳の柔軟体操なんです。小学生の保護者のみなさん、来年に向けて親子でこの柔軟体操に挑戦してみてください。

